

(様式1)

学校番号 (小)・中)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 (広沢小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

・今年度の重点として、広沢小の子供たちに付けたい力である課題対応能力の育成に向けて、一緒になって取組を考えていきたい。
・広沢小見守り隊のさらなる地域と連携強化を図っていく。
・コミュニティ・スクールの具体的な取組を地域に発信し、充実した活動を行うために地域人材の活用方法について考えていく。教師のサポートに地域人材を活用することで、教師の働き方改革を図っていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった

(理由)

○校長から、学校評価を生かした本年度の学校運営方針について説明があり、学校教育目標について、委員全員で共通理解して、熟議することができた。
○「かいけつする力」「かかわる力」に重点を置いたことで、教育目標が分かりやすく、熟議することができた。
○委員から、子供のより良い生活環境を整えるために、考慮した話し合いができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった

(理由)

○第2回のクラブ活動における地域住民講師による未体験への挑戦や第3回の子供たちの「かいけつする力」を育むための授業を見聞した後、これからの教育活動への熟議を進めることができた。
○学校支援活動の情報提供を踏まえ、学校支援活動について忌憚のない意見があり、今後に向けて具体的な内容と人材についてどのような協力体制が望まれるのか熟議できた。
○学校運営協議会として、具体的な学校支援活動につながっているかは、分からないところではあるが、学校支援活動について、熟議を進めることができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった

(理由)

○学校だよりやホームページで情報発信を行ったほか、所属する自治会の役員会議などの自治会活動の場で、協議会の情報提供を積極的に実施している。
○運絵協議会に学級を担任している教職員が参加していたとが、大きな情報発信につながっていくと実感した。
○地域では、依然として、学校運営協議会の認知度が低いため、地区社協の会合や講演会等で開かれた学校づくり・地域との連携や協力についての説明をし、協力をお願いしていく必要がある。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

○来年度の重点として、広沢小の子供たちに付けたい力である課題対応能力「かいけつする力」、人間関係・社会形成能力「かかわる力」の育成に向けて、一緒になって取組を考えていく。
○大規模改修の中でも、子供たちが、安心して学校生活を送ることができるように、教職員と学校運営協議会委員の関係を強化するとともに、学校運営協議会の協力体制をより具現化し、熟議していく。
○コミュニティ・スクールの取組についての発信方法を検討し、充実した活動を行うために地域人材の活用方法について考えていく。教師のサポートに地域人材を活用することで、教師の働き方改革を図っていく。